

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、9月分の新積み期間に入ったものの、150兆円台の当座預金残高を背景に資金余剰感は強く、無担保コールO/N加重平均レートは週間を通じて落ち着いていた。中心の出合いは、都銀が0.06~0.061%、地銀・信託・証券が0.063~0.068%となり、狭いレンジでの取引となった。一部地銀・証券からの試し取りで0.125%の出合いも見られたが、加重平均を大きく押し上げるまでには至らず、無担保コールO/N加重平均レートは週を通して0.06%台後半の推移となった。また、先々週と比較してレート水準に大きな変化は無かったものの、現先やレポのレートが低下している影響もあって、一部の生損保や投信からのオファーが見られた。ターム物は、都銀は期内物、大手証券は期越え物の調達が見られた。固定金利方式の全店共通担保資金供給オペは18日に3M物・8,000億円でおファーされ、応札額2,527億円となり、札割れの結果となった。

今週のインターバンク市場は、22日の国債大量償還・利払いに加えて各種オペの資金供給がなされるため、当座預金残高は過去最高の160兆円台前半となる見込みである。高水準の当座預金残高を背景に、落ち着いた展開が続くものと考えられる。主な経済イベントとしては、26日の8月全国CPIが挙げられる。

2. オープン市場

先週の短国市場は、売り物が見当たらず、タイトな需給環境が続く一週間であった。日本銀行の短国買入オペにおいて、マイナスレートでの落札が可能となったことが明確になり、業者間取引においてもマイナス圏での取引に抵抗感が無くなり、基本的にはゼロ以下のレートでしか出合いが付かない状況となった。短国の入札は、17日に1Y物が2兆5,000億円、18日に3M物が5兆7,000億円を実施された。1Y物は按分レート0.0059%、平均レート0.0019%、按分比率73.1838%という結果となった。事前の予想通り堅調な結果であったものの、1Y物をほぼ金利が付かない水準で購入する投資家はそれほど多くなく、短国買入オペを見込んだ業者の落札が多かったと見られる。3M物は按分レート0.004%、平均レート0.0016%、按分比率50.5824%という結果となった。こちらも堅調な結果となったものの、前日の1Y物と入札が連続したことから、セカンダリーではやや荷もたれ感が高まっていた。短国買入オペは19日に1兆7,500億円でおファーされ、按分利回較差+0.002%、平均利回較差+0.003%、按分比率97.8%と、小甘い結果であった。引値を勘案すると、実際の落札は1Y物が中心であると考えられ、▲0.002~0%程度のレートであったと予想される。

先週のCP市場は、週間の償還総額5,000億円程度に対して、7,000億円程度の発行となった。発行レートは、a-1格銘柄の9月末越え物で0.095~0.105%程度、a-1+格銘柄の9月末超え物で0.07~0.08%程度が中心であったが、短国需給がタイト化している影響もあって、一部では0.06%台の決着も見られた。17日にCP等買入オペが5,500億円でおファーされ、応札総額9,951億円、落札総額5,431億円、按分レート0.079%、平均レート0.087%、按分比率47.5%という結果になった。発行レートが低下気味だったこともあって、落札レートは前回から小幅低下となっていた。

今週の短国市場は、木曜日に3M物の入札が実施される。償還が2015年1月8日となっており、年末を跨ぐことから、結果が注目される。CP市場は、24日にCP等買入オペが実施される。月末週にあたり、発行案件の増加が見込まれるものの、発行レートは横ばい圏での推移が予想される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で2,400億円程度の発行超見通し。財政資金は、22日の国債大量償還・利払いを中心に6兆1,800億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で5兆9,400億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<22日>TB3M;償還42,700億円・発行57,000億円/TB1Y;償還13,100億円・発行25,000億円/5Y;償還64,000億円・発行27,000億円/10Y;償還68,200億円・発行24,000億円/20Y;償還7,100億円・発行12,000億円/30Y;発行7,000億円/エネルギー対策借入;期日3,000億円・借入4,000億円<26日>預保借入;期日100億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オベ	期日	新規実行	オベ合計	実質過不足
9/22 (月)	△ 400	57,800	57,400	全店共通(固) 国債買入 CP買入 社債等買入	△ 1,600 △ 400 △ 100	2,500 11,900 5,400	17,700	75,100
9/23 (火)	秋分の日							
9/24 (水)	0	0	0	国債買入 短国買入		6,100 17,500	23,600	23,600
9/25 (木)	△ 1,000	3,000	2,000				0	2,000
9/26 (金)	△ 1,000	1,000	0	被災地支援	△ 800	1,000	200	200
週間合計	△ 2,400	61,800	59,400		△ 2,900	44,400	41,500	100,900

(注) 上表の9/22は日銀予想、9/24以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/22 (月)			8月の米中古住宅販売
9/23 (火)	秋分の日		
9/24 (水)			8月の米新築一戸建て販売件数
9/25 (木)	8月の企業向けサービス価格指数 (日銀 8:50)	TB3M 57,000億円 9/29発行	流動性供給 4,000億円 9/29発行
9/26 (金)	9月都都区部・8月全国消費者物価指数 (CPI 総務省 8:30)		4-6月期の米GDP確報値

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目論見書をよくお読みください。